

Diagnose karte 振動診断カルテ

F. No 0052

PM 判定コード 屋外粉塵多し-RYK5
 良好な状態に復帰
 対処 このまま様子見を！傾向監視

会社名 ○○△ (株) 保全室
 設備名 ○○△集塵機
 計測日時 2010年5月13日 14時38分
 計測目的 異常振動の調査
 機種 送風機 (両持、直結)

**重要な
実例**

測定解析 株式会社 藤沢田子加サービス
 沢田 作雄

動力伝達 レザークップリング
 モータ容量 6 P 150.0 kW 24 枚
 回転数 1140.0 rpm
 機器回転数 1140.0 rpm
 基礎タイプ コンクリート基礎

03V 22216 03H 22216
 潤滑方式 オイルバス
 04V 22216 04H 22216
 潤滑方式 オイルバス
 制御方式 AC IN V制御
 負荷条件 フル運転 24 h
 総運転Hr 不明 Hr 一般寿命Hr 32000 Hr
 メーカー WATANABE MFG

型式 14-8BC-SCM
 能力 300mmAq×1752m3/min
 温度 排ガス 60~150°C



症状/異常原因 CH 1 2 3 4

部位 方向	VEL:振動速度 [mm/s]		ACC:振動加速度 [m/s ²]			contents
	Peak	rms	Peak/5	rms	CF	
03V	0.42	0.12	1.97	2.43	0.81	見事に低下!
03H	0.58	0.15	1.89	2.08	0.91	
04V	0.59	0.20	2.02	2.49	0.81	
04H	0.55	0.16	1.76	2.05	0.86	

安全履歴
 2006年1月6日 分解整備・ベアリング・ゴムカップ関係

ベアリング	22216	回転数	1140	
fr	2fr	3fr	fp	24 数
周波数 19.00	38.00	57.00	456.00	
周期 52.63	26.32	17.54	2.19	
fo	fi	fb	2fb	fc
周波数 149.10	192.90	71.93	143.85	8.28
周期 6.71	5.18	13.90	6.95	120.72

[所見]
 ・異音や衝撃性にて振動解析した結果、ベアリングとハウジング部の嵌め合い摩擦の症状軸の揺動が認められました。点検結果は画像のように動きが確認出来たために隙間の補修処置を施し、結果は大変良好な状態に復帰しています。



[memo]
 5月12日 開放点検
 ・従来型保全であるベアリングを更新しても、嵌め合い隙間の存在がある以上この症状は緩和されません。
 ・この実例は今後の保全活動を最大に発揮できる手法です。

参考データ 50		収集日時 2010/05/10 10:46	
Peak	rms	Peak/5	rms
1.54	0.50	2.14	1.37
3.39	1.23	1.80	1.37
1.60	0.61	12.44	2.00
3.95	0.96	10.06	2.52

[傾向管理グラフ]

